



Kumamoto City

News Release

令和 7 年（2025 年）10 月 23 日

令和 7 年度高齢社会フォーラムの開催について

すべての世代が年齢に関わりなく、それぞれの希望に応じて活躍し続けられる「エイジレス社会」の構築と、多世代交流を通じた誰もが活躍できる地域づくりを目的として、内閣府と熊本市が主催で「令和 7 年度高齢社会フォーラム」を開催します。

“みんなの「ふるさと」をつくる”をテーマに、有識者による講演・パネルディスカッションや、九州・沖縄ブロックの受章者によるエイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動の事例発表等を行います。

- 1 実施日時 令和 7 年（2025 年）10 月 29 日（水）
13 時 00 分～16 時 30 分（開場は 12 時 30 分）
※ 熊本市からは、水野 喜弘さん（楠校区防犯協会）が「エイジレス章」、長嶺校区第一町内老人クラブ長成会が「社会参加章」を受章。
うち、長嶺校区第一町内老人クラブ長成会は、事例紹介（15 時 45 分～16 時 25 分）で登壇予定。
- 2 会場 熊本城ホール 2 階シビックホール
- 3 主催 内閣府、熊本市
- 4 内容 別添チラシのとおり
- 5 市出席者 熊本市副市長 田中 俊実
※閉会式（16 時 25 分～16 時 30 分）に出席します。
- 6 取材に当たっての留意点
 - ・取材者用の駐車場はありません。
 - ・取材予定の方は、前日までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

健康福祉局 高齢者支援部 高齢福祉課

電話：096-328-2963

課長：西川 昭浩（にしかわ あきひろ）

担当：副課長 柊木 史雄（かばき ふみお）

入場
無料

令和7年度

高齢社会 フォーラム

テーマ

みんなの「ふるさと」をつくる
－多世代交流を通じた誰もが活躍できる地域づくり－

我が国においては、急速に高齢化が進み、65歳以上の人口の割合は29.3%に達しており、今後も更なる高齢化の進展が見込まれています。そのような中、全ての世代が年齢に関わりなく、それぞれの希望に応じて活躍し続けられる社会の構築が求められています。本フォーラムでは、「みんなの『ふるさと』をつくる－多世代交流を通じた誰もが活躍できる地域づくり－」をテーマに、有識者による講演・パネルディスカッションやエイジレス・ライフの実践事例及び社会参加活動の事例紹介、内閣府による「多世代参画による地域活力プラットフォーム構築調査事業」の施策説明を通じ、若者から高齢者まで幅広い世代が互いに支え合い、それぞれの意欲や能力を活かして生きがいを持って生活できる地域社会のあり方について、様々な観点から議論を深めていきます。

令和7年
10/29 WED

13:00～16:30 (開場/12:30～)

会場／熊本城ホール
2階シビックホール

プログラム

12:30	受付・開場
13:00	開会式
13:05	内閣府による行政施策説明
13:20	基調講演
13:50	休憩
14:00	パネルディスカッション
15:30	休憩
15:45	事例紹介
16:25	閉会式

オンラインでも同時配信！

URL ▶ https://www.youtube.com/live/vvGU2DIbMY8?si=sIY_roLiuS4sS1-f



基調講演

「よきこと」をつむぐ、「よき存在」になる — エイジレス・ライフを楽しむために —

エイジレス・ライフとは、高齢者だけのものではなく、誰もが年齢を気にせず、楽しく、生き生きと暮らすことです。そのために人や社会はどうあったらよいのか、そのあり方を世代間交流などさまざまな実践から考えます。



基調講演・コーディネーター

大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授

まきの あつし
牧野 篤

1960年生まれ。名古屋大学助教授・准教授を経て、2008年、東京大学教授。2025年、定年退職後、現職。中央教育審議会生涯学習分科会委員・同社会教育在り方部会委員など。専門は、社会教育・生涯学習。人が人とともにあることで自分らしくあるとはどういうことかなど、人が「学び」を通してコミュニティをつくり、担うことのあり方に関心がある。

パネルディスカッション

パネリスト(五十音順に記載)



パネリスト

一般社団法人 mahaLim 代表理事

おがわ まみ
小川 真実

山形県南陽市出身。中学時代からボランティア活動に取り組み、介護老人保健施設や社会福祉協議会での勤務経験を持つ。現在は介護福祉士養成校の非常勤講師を務める傍ら、多世代型居場所「ごちゃまぜハウス」を運営し、地域で子どもから高齢者までが安心して過ごせる場の提供と、自分らしく生きる地域づくりに尽力している。



パネリスト

熊本大学 名誉教授

こが のりつぐ
古賀 倫嗣

1953年生まれ。2003年熊本大学学長特別補佐(地域連携担当)、2010年教育学部副学部長、2015年附属教育実践総合センター長、2018年定年退職。専門は社会学・生涯学習論・生活体験学。2004年熊本県就学前教育振興会会長、2017年熊本市社会福祉審議会会長、2019年くまもと県民大学学長。『現代の地域と政策』(九州大学出版会)等著書多数。



パネリスト

合同会社Ibasho Japan 代表

たなか やすひろ
田中 康裕

東日本大震災の被災地にオープンした「居場所ハウス」(岩手県大船渡市)の運営への参加など、まちの居場所の実践、研究を行う。大阪府の千里ニュータウンでは、まちの歴史や魅力を発見し、継承するための「ディスカバー千里」の活動に参加。著書に『わたしの居場所、このまちの。制度の外側と内側から見る第三の場所』等。

参加方法

会場整理の都合上、当日会場にて参加をご希望の方は、WEBにて下記URLのフォームまたは右記QRコードからお申し込みください。

※事前に申し込みができない場合でも当日参加は可能です。

URL▶<https://forms.gle/Y8L2dvR9wZBkYMBt8>



お問合せ先

高齢社会フォーラム事務局

TEL.03-6809-2772 (お問合せ受付時間: 土日祝を除く、平日9~18時)

✉ staff@liveup.tokyo

アクセス

